

学習課題(中学校1年生)



【国語】

<学習内容> 「随筆二編」「構成や描写を工夫して書こう」

○身近な体験を基に随筆を書いてみよう。

<取り組み方>

- (1) 教科書「随筆二編」(P216～218)を音読しよう。
- (2) 「随筆二編」について、次の点を確認してみよう。
 - ① P219 「学習の窓」で「随筆」について確認しよう。
 - ② 「随筆二編」で印象に残った語句や表現を挙げてみよう。
 - ③ 「空」について、「風花」を見た作者が感じたことはなんだろう。
 - ④ 「えんぼう」について、幼い「私」にとっての「えんぼう」という言葉の意味を筆者はどのようなものとして考えているのだろうか。
- (3) 教科書「構成や描写を工夫して書こう」(P220～223)を読んで、随筆を書く手順を確認しよう。
- (4) 身近な体験を振り返り、題材を選ぼう。
 - * 自分にとって意味や価値のある体験・風景・言葉はないだろうか、具体的に振り返ってみよう。
 - ・ 忘れられない体験・風景・言葉
 - ・ 成長を感じた体験
 - ・ 心を揺さぶられた体験
 - ・ ものの見方や感じ方が変わった体験 など
 - * 教科書 P220～221 下段・272～273 も参考にしてみよう。
- (5) (4) で選んだ題材について、
 - ① 具体的にどのような体験・風景・言葉だったのか、箇条書きで書き出していこう。
 - ・ 5W1H(いつ・誰が・どこで・何を・なぜ・どのように)を整理しよう。
 - ・ 言葉やその時の周囲の様子はどのようなものか。
 - ・ 五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)で感じたこと。
 - 音・味・温度・匂い・触った感じなどを考えてみよう。
 - ② 自分にとってどのような意味のあるものなのか、まとめよう。
 - * 「改めて考えてみると」「今にして思えば」など、選んだ題材の自分にとっての意味や価値を考えてみよう。
 - ③ ①②を基に、どの順で書くとよいか構成を考えよう。

(6) 書き出しや表現を工夫して、印象に残る随筆を書こう。

○読み手を引き付ける書き出しを工夫できただろうか。

○描写などの工夫はできただろうか。

例) 空は青かった。⇒空は吸い込まれてしまいそうなほど青かった。

私は緊張していた。⇒足が震え、心臓の音が大きくなっていた。 など

○自分の表現したい内容の中心が伝わるだろうか。

(7) 書いた随筆を家の人に読んでもらい、感想をもらおう。

※(1)～(7)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※(7)について、家の人に読んでもらうのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、声に出して発表するということでもかまいません。

<学習のヒント>

○ 今回の学習は、随筆に挑戦します。作文に苦手意識がある人は、示されている例もしっかり音読してみると、理解が深まると思います。

○ 「自分にとって」価値があると思う出来事や体験などを考えます。そのことによって自分の考え方やものの見方が変わった、出来るようになった、成長したという自分自身にとって変化を感じたエピソードなどを考えてみましょう。

○ 5W1Hは、情報を伝えると時に大切な要素ですので、覚えておく他他の作文でも役に立ちます。

○ 付箋に書き出した場合は、付箋を観点ごとに分類したりしながら整理し直してみましょう。ノートなどに書き出している場合は、書いたもの同士のつながりを考えてみましょう。

どの順番で書くと分かりやすいのか、また、読み手を引き付けるかを考えてみましょう。

☆作文を書くことが苦手だと感じている人は、ぜひ教科書の手順通りに取り組んでみましょう。丁寧に説明されているので、示されている例を参考にに取り組んでみましょう。最初は、教科書の例をまねするつもりで書いてもいいかもしれません。

☆また、文章を書くことが苦手な人は、特に一文が長くなりすぎないように気を付けてみましょう。また、読点「、」が適切につけられているかも読みやすさに繋がりますので、気を付けてみましょう。